



分野におけるデータ公開・管理

E1 研究データの「新しい見つけ方」を考える Imagine the next-generation discovery system of research data

令和4年6月6日



本トラックの流れ

- 発表(各15分)
 - NII 大波 純一
 - 遺伝学研究所 川本 祥子
 - DBCLS 小野 浩雅
 - NBDC 川嶋 実苗
- 議論(15分)
 - 4名の発表者同士の意見交換と議論
- 質疑(15分)
 - 聴講者との質疑応答



分野におけるデータ公開・管理

E1 研究データの「新しい見つけ方」を考える Imagine the next-generation discovery system of research data

ジェネラルな学術基盤から発見する研究データ

大波純一 (国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター)



学術コンテンツ流通の対象の拡がり

抽象度高









オープンアクセスの推進

国際社会の要請

- ① データ利活用/国際的な 共同研究の促進
- 公的資金による研究成果 の社会への還元
- 研究公正への対応





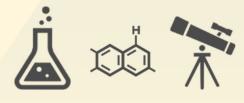


資金配分 機関

研究機関 (大学等)

研究者

研究データ



研究データ管理 (RDM)

歴史的・文化的資料







デジタルアーカイブ

ファクト

エビデンス



学術情報を取り巻く近年の状況

学術情報の膨大化

※学術情報=学術論文・学術図書・学術データなど



例)イヌとオオカミの遺伝情報解析の論文

Supplementaryとして 12個体分のSRA Data

198.3GB

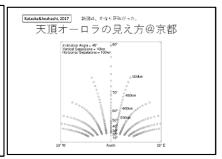
Axelsson E. et. al. "The genomic signature of dog domestication reveals adaptation to a starch-rich diet" Nature. 2013 Mar 21;495(7441):360-4. doi: 10.1038/nature11837. http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/23354050

学際研究の重要性

(専門分野以外の情報へのアクセス)







片岡龍峰、オーロラと人間社会の過去・現在・未来 https://www.rois.ac.jp/sympo/2017/pdf/presen_aurora_180226.pdf

研究のグローバル化

(インターネット経由での海外からのアクセス)



国・地域ごとの学術情報発見

欧州: OpenAIRE



https://explore.openaire.eu/

英国: CORE



https://core.ac.uk/

米国: Semantic Scholar



https://www.semanticscholar.org/

韓国:dataon



https://dataon.kisti.re.kr/#section1

米国: PubMed



https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/

独国:BASE



https://www.base-search.net/



分野ごとの情報発見

遺伝子配列: DDBJ



https://www.ddbj.nig.ac.jp/ddbj/index.html

※件数は2021年12月の公開統計情報

生命科学:データベース横断検索



https://dbsearch.biosciencedbc.jp/

※件数は2022年2月時点

物質材料学:MDR



https://mdr.nims.go.jp/ ※件数は2022年2月時点

人文社会科学: JDCat



https://jdcat.jsps.go.jp/ ※件数は2022年2月時点



企業が提供する学術発見

Google Scholar



http://scholar.google.com/

※件数は2014年の推計(http://arxiv.org/abs/1407.6239)

Mendeley



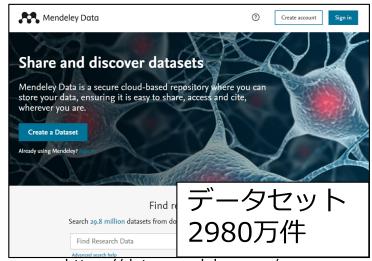
https://www.mendeley.com/ ※件数は2022年2月時点

Google Dataset Search



https://datasetsearch.research.google.com/ ※件数は2020年のKaggleデータより算出

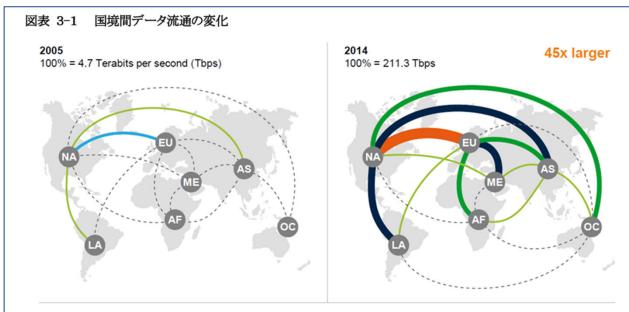
Mendeley Data



https://data.mendeley.com/ ※件数は2022年2月時点



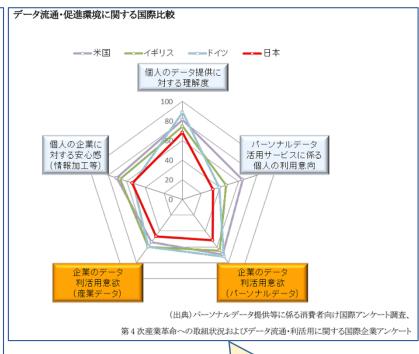
データ流通量の増加と日本の立ち位置



NA:北米、EU:欧州、AS:アジア、ME:中東、AF:アフリカ、OC:オセアニア 黒色点線: <50Gbps、黒色実線:50 Gbps -100Gbps、緑色実線(細):100-500Gbps、青色実線(細):500-1000Gbps、緑色実線(太):1,000Gbps-5,000Gbps、青色実線(太):5,000 Gbps -20,000Gbps、オレンジ実線(太):20,000Gbps 以上

(出典)Mckinsey Global Institute DIGITAL GLOBALIZATION: THE NEW ERA OF GLOBAL FLOWS

ネット上の通信帯域の総量は 9年で**45倍**に。

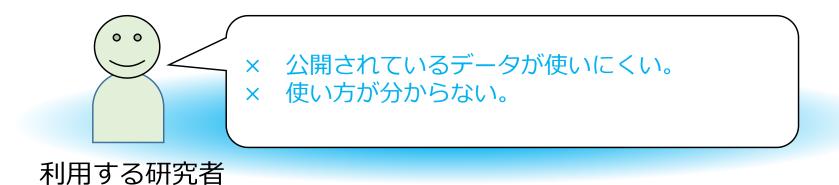


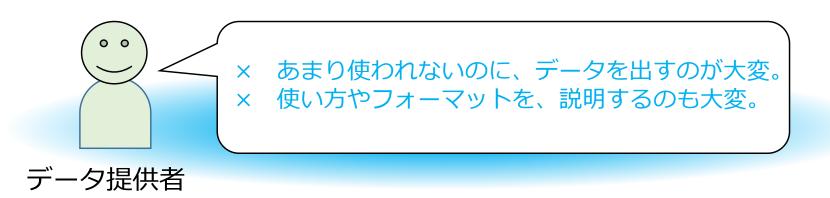
米国・英国・独国と比較して、 日本のデータ利用・提供に関する 意欲は低レベル

安心・安全なデータ流通・利活用に関する調査研究の請負報告書 2017年3月 株式会社三菱総合研究所 https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/linkdata/h29_02_houkoku.pdf



研究データ利用における課題

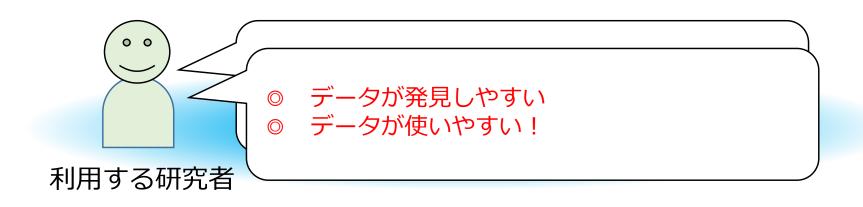


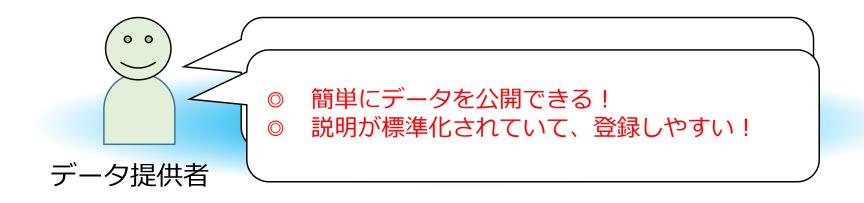


データ利用側と提供側の悪循環をどこかで断ち切り、 良い知の循環を作ることが必要。



研究データ利用における理想





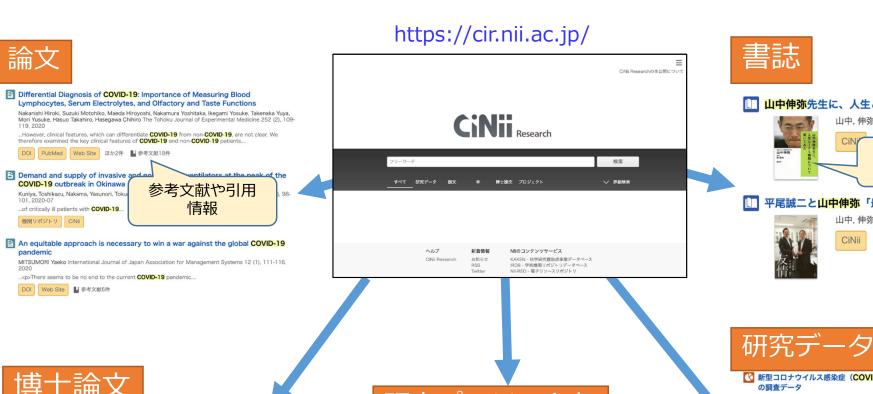
良い知の循環を作るために、標準化された研究データの 流通プロセスを構築し、皆がそれを利用できるようにする。

→公的な学術基盤の使命



学術検索基盤 CINII Research

2021年4月より正式公開された、国立情報学研究所の新サービス一つの検索画面から多様な学術情報へ、イージーアクセス



山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いてみた



平尾誠二と山中伸弥「最後の一年」

山中, 伸弥, 平尾, 誠二, 平尾, 惠子 講談社 2017

🚺 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が心理臨床業務に与えた影響について

...このデータは、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が心理臨床業務に与えた影響について実 施されたwebアンケートの結果である。実施時期は、緊急事態宣言が出された直後の2020年5月17日から6月16日までで、有効回答者は465名である。...

【♥ COVID-19/SARS-CoV-2関連のプレプリントに関する分散表現データセット— 2020年05月17日版—

等 小柴, 和弘 林 2020-06

データ本体への アクセスリンク

Putative mechanism of hypotensive action of platelet-activating factor in dogs

山中, 伸弥 大阪市立大学 博士 (医学) 甲第1162号 1993-03-24 博士号情報 NDLデジタルコレクション DOI Web Site ほか1件

研究プロジェク

■ BRG1によるクロマチン構造変化を介した細胞初期化促進メカニズムの解明 京都大学 2011 - 2013 (科研費)

| 再プログラム化によるヒト体細胞幹細胞化のための基盤技術開発 多田 高 京都大学 2007 - 2010 (科研費)

ファンディング情報



CiNii Researchに含まれるデータ件数

3000万件以上の研究データ、プロジェクト、論文、書誌情報を搭載

2021年5月時点のCiNii Research検索エントリ数

論文	9,258,151
研究データ	191,988
本	12,737,134
博士論文	673,510
その他成果物	6,552,789
プロジェクト	967,919
計	30,381,491

NIIが以前から公開していた学術サービス、



等の多様なデータを集約し、統合的に構築。



CiNii Research トップ画面(詳細検索)



【7/12更新】2022年4月1日からのCiNii ArticlesのCiNii Researchへの統合について





ヘルプ CiNii Research 新着情報

NIIのコンテンツサービス

お知らせ RSS Twitter KAKEN - 科学研究費助成事業データベース IRDB - 学術機関リポジトリデータベース NII-REO - 電子リソースリポジトリ



研究データ表示画面

研究データ検索結果一覧

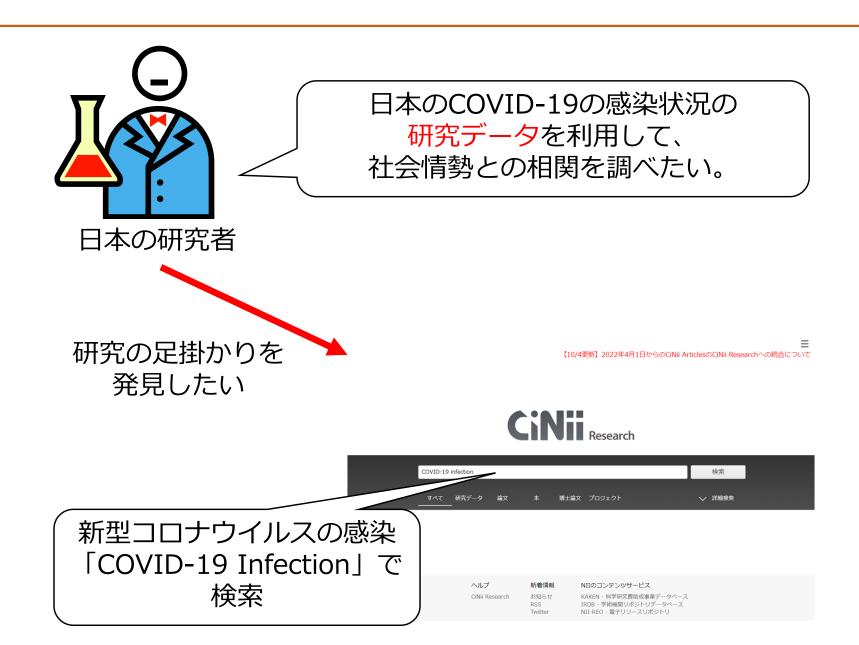


研究データ単体画面



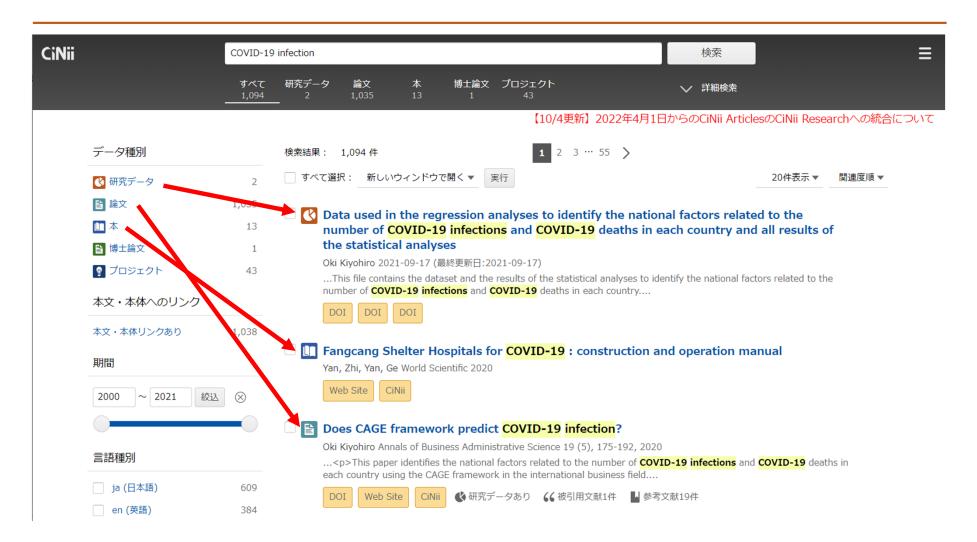


(ケース例)COVID-19の研究データを探す





COVID-19の感染研究の成果情報



COVID-19の研究に関する情報が、1000件以上ヒット。 →研究データで絞り込み



COVID-19の感染に関する研究データ



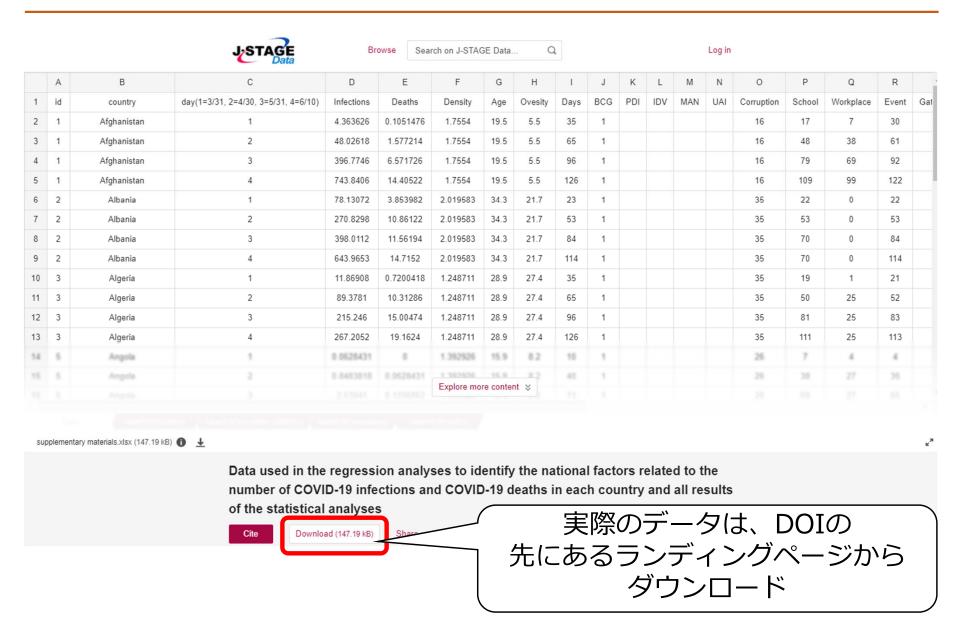


研究データ単体ページ



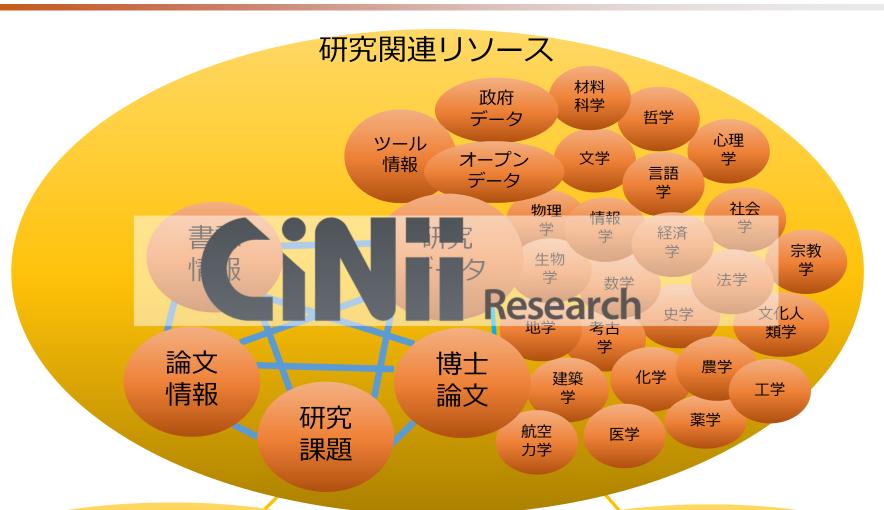


DOIから研究データ本体へ





CiNii Researchの将来イメージ



海外研究データ基盤





















JDCat (人社データカタログ)

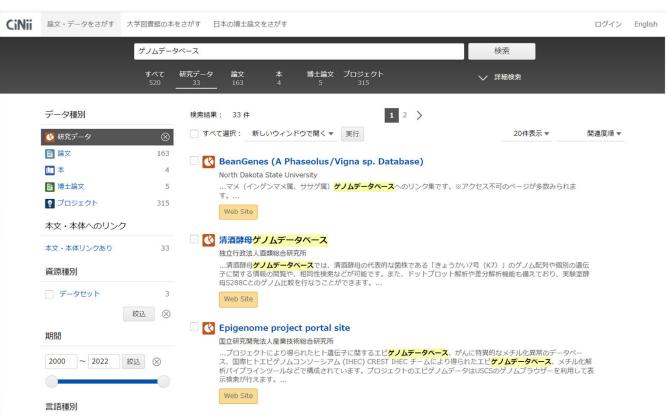


本日より検索対象にNBDCの Integbioデータベースカタログを追加しました

- 生命科学系データベースを一覧から探す - Integbio データベースカタログ



DOIやJ-GLOBAL IDを利用した成果 物や研究者情報の 名寄せを実施。



NBDCが作成したライフサイエンス分野の 研究データカタログを統合し、検索結果に表示。



まとめ

- 研究データの日本における利活用はまだ発展 途上。さらなる推進のために公的な学術基盤 と標準化されたプロセスが有用
- 国立情報学研究所が提供する検索基盤の CiNii Researchでは、広範な分野の統合的な 学術情報を発見可能
- CiNii Researchとの連携ネットワークを強化 し、今後の良い知の循環へ